

エコアクション 21

環境活動レポート

(平成 27 年度)

運用期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

平成 28 年 6 月 1 日

有限会社 豊原商会

目次

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 環境目標
4. 運用期間の環境目標と実績
5. 環境活動計画の内容
6. 環境活動の取組評価と次年度の取組内容
7. 環境関連法規等の評価結果及び違反、訴訟等の有無
8. 全体の評価と見直しの結果

1.環境方針

基本理念

有限会社豊原商会は、自然とのよりよい共存のために地域環境の改善を目指し、主業務である産業廃棄物処理事業の活動を通じて地域環境の保全に積極的に取り組みます。

そのために社員一同が常に環境問題に対して積極的に行動し、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

行動指針

環境経営システムを構築・運用し、定期的に見直すことによって、環境保全活動の継続的な改善を図ります。

1. 廃棄物の分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
2. 二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
3. 節水に取り組み、水使用量の削減に努めます。
4. 環境にやさしい商品などの購入に努めます。
5. 環境方針を全従業員に周知徹底します。
6. 環境関連法規等を遵守し、事業活動を推進します。

平成 25 年 6 月 1 日 制定
有限会社 豊原商会
代表取締役 豊原幸男

2.組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 豊原商会

代表取締役 豊原 幸男

創業 昭和56年10月1日

(2) 所在地

本社 山口県下関市豊田町大字矢田 470 番地 1 号

菊川支店 山口県下関市菊川町大字下岡枝茶屋川 884 番地 3 号

(3) 環境管理責任者及び担当者氏名

環境管理責任者 豊原 幸男

環境管理担当者 豊原 千恵

(4) 連絡先

TEL 083-766-1862

FAX 083-766-0312

E-mail buti@oregano.ocn.ne.jp

(5) 事業の内容

1. 産業廃棄物の収集・運搬

2. 特別管理産業廃棄物の収集・運搬

3. 一般廃棄物の収集・運搬

4. 貨物自動車運送業

5. 自転車部分品の加工

(6) 事業の規模 (2015 年度)

資本金 : 1000 万円

売上高 : 229 百万円

従業員数 : 17 人

建屋床面積 : 176.95 m²

廃棄物取扱量 : 2065.1 t/年 (2015 年度実績)

(7) 当社の事業年度

4 月～3 月

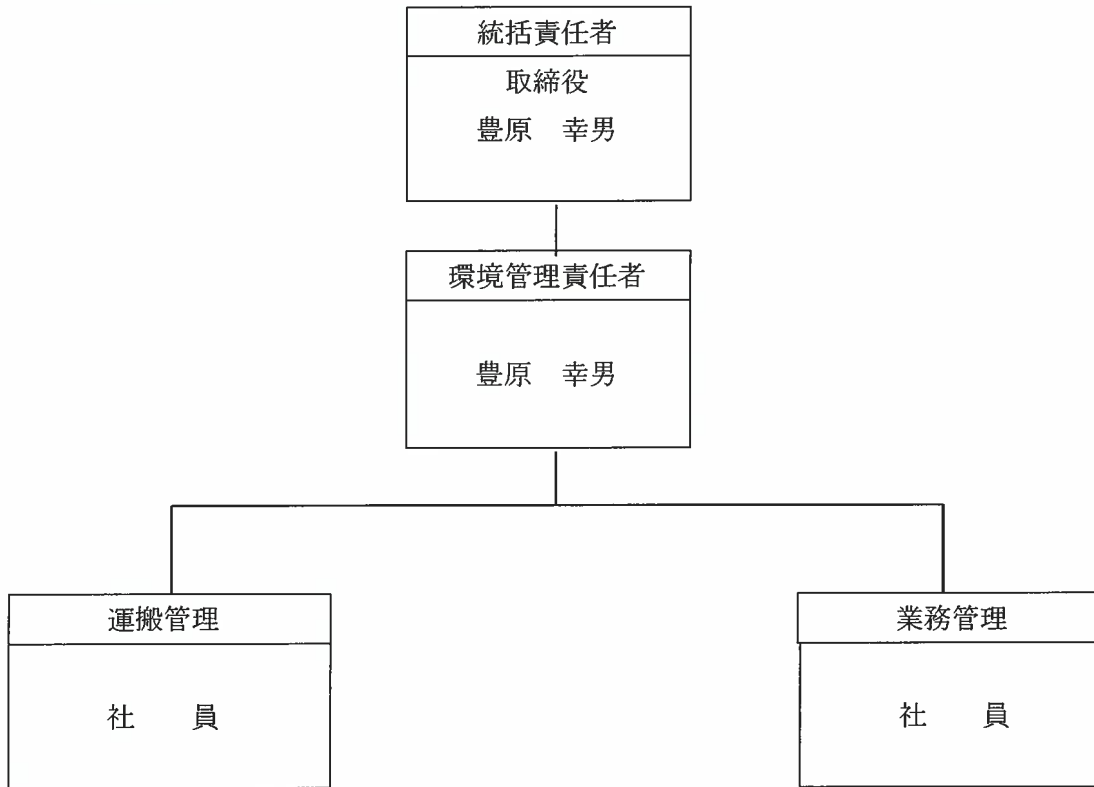
(8) 認証・登録範囲

対象事業者名 : 有限会社 豊原商会

対象事業所 : 全事業所

対象活動 : 全活動

(9) 組織図



氏名	所属・役職	役割・責任・権限・使命
豊原 幸男	代表取締役	全体の総括、環境方針の策定、環境への取り組みの実施、全体の評価と見直し。
豊原 千恵	事務局	社全体の把握、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する。
豊原 千恵	総務局	電力・水・車燃料・灯油消費量の管理。
豊原 大造	取締役 収集	廃棄物の廃棄量管理。

(10) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可証

山口県 : 第 03500028781 号
許可期間 平成 27 年 2 月 23 日～平成 32 年 2 月 22 日
下関市 : 第 07510028781 号 (積替え又は保管を含む。)
許可期間 平成 27 年 9 月 1 日～平成 32 年 8 月 31 日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

山口県 : 第 03550028781 号
許可期間 平成 27 年 10 月 2 日～平成 32 年 10 月 1 日

一般廃棄物収集運搬許可証

下関市 : 第 11045 号
許可期間 平成 27 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日

廃棄物取扱種類

一般廃棄物 : 可燃物・不燃物・資源物
産業廃棄物 : 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず (がれき類を除く。)、陶磁器くず (自動車等破砕物を除く。以上 3 種類)、汚泥、廃油、廃アルカリ、木くず、ゴムくず、がれき類 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上 9 種類

特別管理産業廃棄物 : 廃油 (揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃酸 (水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃アルカリ (水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃石綿等 以上 4 種類

事業の区分

面積 : 328.65 m²
保管上限 : 405.84 m³
最大高さ : 2.55m
種類 : 廃油、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず等、がれき類 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上 6 種類

一般貨物自動車運送許可証 : 中国自貨第 428 号

(1 1) 設備の内容

車両 : 塵芥車両 6 台 キャブオーバー車両 5 台
小型トラック車両 3 台 脱着装置付コンテナ車両 1 台
フォークリフト 4 台

(1 2) 処理実績 (収集運搬のみ)

単位 : t

年度	一般廃棄物	産業廃棄物
25	2077	88.6
26	2044.5	30.1
27	2049	16.1

3.環境目標

管理責任者	担当者
	
平成28年7月1日	平成28年7月1日

環境目標		単位	平成26年度 (基準年度)	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	159,645	159,486以下 0.10%	159,327以下 0.20%	158,168以下 0.30%
	a 電力使用量の削減	kWh	36,828	32,792以下 0.10%	32,756以下 0.20%	32,720以下 0.30%
	b 灯油使用量の削減	ℓ	2,623	2,597以下 1.00%	2,569以下 2.00%	2,545以下 3.00%
	c ガソリン使用量の削減	ℓ	799	798以下 0.10%	797以下 0.20%	796以下 0.30%
	d 軽油使用量の削減	ℓ	48,412	48,364以下 0.10%	48,316以下 0.20%	48,268以下 0.30%
	e LPG使用量の削減	kg	2.8	2.7以下 0.10%	2.6以下 0.20%	2.5以下 0.30%
2	総排水量の削減	m ³	815	807以下 1.00%	799以下 2.00%	791以下 3.00%
3	廃棄物排出量(自社分)の削減	t	3.5	3.4以下 0.10%	3.3以下 0.20%	3.2以下 0.30%
4	分別作業での適正分別の推進		適正	適正	適正	適正
5	グリーン購入の推進	切替品目数	2	3	3	3
6	地域奉仕活動等の参加		参加	参加	参加	参加

備考:二酸化炭素の排出係数はH23年度の中国電力0.657kg-CO₂/kWhを用いた。

4.運用期間の環境目標と実績

管理責任者	担当者
 平成28年7月1日	 平成28年7月1日

環境目標	単位	平成26年度 (基準年度)	平成27年度 目標	4~3月 使用量実績	目標達成判定	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	159,645	159,486以下 0.10%	155,642	○
a	電力使用量の削減	kWh	36,828	32,792以下 0.10%	39,132	×
b	灯油使用量の削減	ℓ	2,623	2,597以下 1.00%	2,203	○
c	ガソリン使用量の削減	ℓ	799	798以下 0.10%	1,320	×
d	軽油使用量の削減	ℓ	48,412	48,364以下 0.10%	46,248	○
e	LPG使用量の削減	kg	2.8	2.7以下 0.10%	2.7	○
2	総排水量の削減	m ³	815	807以下 1.00%	745	○
3	廃棄物排出量(自社分)の削減	t	3.5	3.4以下 0.10%	2.8	○
4	分別作業での適正分別の推進		適正	適正	適正	○
5	グリーン購入の推進	切替品目数	2	3	3	○
6	地域奉仕活動等の参加		参加	参加	参加	○

備考:二酸化炭素の排出係数はH23年度の中国電力0.657kg-CO₂/kWhを用いた。

5.環境活動計画の内容

管理責任者	担当者
 豊原	 豊原
平成28年6月1日	平成28年6月1日

1.二酸化炭素総排出量の削減

取組目標	活動項目	
電力使用量の削減	1	エアコンの温度設定、夏28℃・冬20℃
	2	消灯の徹底
	3	クールビズ、ウォームビズ
	4	長時間席を離れる時のパソコン電源off
灯油使用量の削減	1	暖房温度の適正管理
ガソリン使用量の削減	1	エコドライブ
	2	アイドリングストップ
軽油使用量の削減	1	エコドライブ
	2	アイドリングストップ
	3	日常・定期点検の実施
LPG使用量の削減	1	給湯器等の効率使用

2.総排水量の削減

取組目標	活動項目	
節水活動	1	水を出しっぱなしにしない。
	2	節水コマ導入

3.廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目	
リサイクルの推進	1	コピー用紙の両面使用
	2	廃棄物の分別とリサイクル

4.分別作業での適正分別の推進

取組目標	活動項目	
適正分別の推進	1	排出事業者責任の徹底
	2	排出事業者自らのゴミの減量・リサイクルの取組

5.グリーン購入

取組目標	活動項目	
グリーン購入	1	トイレトペーパーを再生紙に切り替え
	2	事務用品を再生紙に切り替え

6.地域奉仕活動等の参加

取組目標	活動項目	
地域奉仕活動等の参加	地域奉仕活動等に積極的に参加する。	

6.環境活動の取組評価と次年度の取組内容

	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素総出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・親会社の部品の加工数が増加したため圧縮作業のコンプレッサー等の多使用の為、電気使用量が増えた。 ・ガソリン使用量増加に関しては、ガソリン使用車の追加によるものと考えられる。 ・二酸化炭素排出量、軽油使用量、灯油使用量、LPG使用量は目標達成となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、消灯の徹底。 ・引き続き、エアコンの温度設定の徹底。 ・エコドライブ・アイドリングストップの徹底。 ・ガソリン使用量の目標値の見直し必要。 ・セーフティドライブの講習等の積極的な参加。
総排水量の削減	日々の節水活動により、削減されている。	引き続き、節水を心掛ける。
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・コピーの両面使用など廃棄物を減らした。 ・ゴミの分別、リサイクルを徹底した。 	来年度も継続。
分別作業での適正分別の推進	ゴミの分別、リサイクルを徹底した。	来年度も継続。
グリーン購入の推進	グリーン商品のものをなるべく購入している。	来年度も継続。
地域奉仕活動等の参加	河川掃除・草刈り等に積極的に参加した。	来年度も継続。

7.環境関連法規等の評価結果及び違反、訴訟等の有無

- ・自己チェックの結果、違反はありませんでした。
- ・関係当局からの違反の指摘及び訴訟は過去5年間ありませんでした。

8.全体の評価と見直しの結果

日々の社員の環境に対する意識や、取組み、環境負荷等を数値化・グラフ化し、社員の目の届く所に掲げることで、目標達成する環境活動が増えてきた。

電力量においては、親会社の圧縮作業によるコンプレッサー等の使用の増減が関係しているため、目標達成にはなかなか難しいものがある。また、新事務所を設立することもあり、今後使用量が増えることが予想されるため、目標値を再度見直すこととする。

<電気使用量の見直し>

環境目標	平成27年度 (基準年度)	平成28年度 目標	平成29年度 目標	平成30年度 目標
電力使用量の削減	kWh 39,132	39,093以下 0.10%	39,054 0.20%	39,015 0.30%

ガソリン使用量においては、廃棄物収集にガソリン車を追加したため、使用量が増えたと思われる。しかし、来年度より収集先が減ったので、当面様子見とする。

灯油使用量・排水量においては、過去の実績より目標値を大幅に達成していることより、削減目標値を見直し、様子を見たところ、見事目標を達成することができた。

また、豊田町で有名なホテルの住みやすい環境づくりのために河川掃除の積極的な参加など、地域奉仕活動にもこれから力を入れていきたい。